

# 令和7年度 議会懇談会

と き 令和7年11月10日(月)

ところ 市役所4階 議場

～ これからのすながわのまちづくり ～

## 実施報告書



令和7年度の議会懇談会は、将来を担う砂川高校の2年生43名と「これからのすながわのまちづくり」について、以下の6つのテーマに分かれて懇談を行いました。テーマごとのグループ懇談では、どの生徒さんも高校生らしい柔軟な発想・視点で、積極的に発言をしていただきました。

懇談会でいただいた貴重なご意見は、砂川市議会として一つひとつをしっかりと受け止め、今後の議会活動に生かしてまいります。

### 「これからのすながわのまちづくり」

個別テーマ	担当議員	
A 医療・介護・高齢者	辻 勲	是枝 貴裕
B 子育て支援	沢田 広志	高田 浩子
C 砂川高校の支援	小黒 弘	伊藤 俊喜
D 公共施設	水島美喜子	鈴木 伸之
E 観光事業・イベント	中道 博武	山下 克己
F 安全確保（災害・クマ等）	武田 真	石田 健太

## Aグループ

# 「医療・介護・高齢者」

担当議員



辻 勲



是枝 貴裕



- ・一人でも多くの高齢者が待つことができるよう、また、体調（病状）の変化が速い小さい子どもにも医師や看護師の目が届くよう、市立病院の待合室を広くしてはどうか。
- ・駐車場が確保されることによって、他の遠い病院に行く必要がなくなり、高齢者の運転の負担も軽減され、事故防止にもつながると思う。保護者から聞く話では駐車スペースの間隔が狭く、上手に駐車できない高齢者は難しい。
- ・滝川市立病院では出張の理髪店があり、長期入院でも散髪が可能で清潔を保てるが、ホームページを見ても砂川市立病院には理髪店がない。長期入院や外出ができない患者は散髪できず、清潔が保てないのでは。
- ・福寿園で介護の体験をしたときに、認知症で他人の物を取ったり暴れてしまう人がいて、暴れた人の手などを保護するものであったり、他人の物を取らないための仕切り（防止の対応）があると良いと感じた。
- ・コンピュータやAIが発達し過ぎて高齢者はついていけないのでは。自分もアナログの方が好きだが、人手不足でAIなどのIT技術導入は必然的な流れなので、高齢者にも慣れてもらわなければならない。そのために、例えば高齢者の隣で機器の操作を教えてあげたり、スマホ決済などの講習を開催するなど、将来的にひとりで使えるようになれば良いと思う。
- ・介護の関係を調べていると、費用の関係で介護施設に入れないとか、自宅で介護者が高齢者を虐待してしまうなど、もっと入所しやすい環境が必要ではないか。
- ・病院の待ち時間の問題や、介護の問題など、人手不足が様々なところで影響していると思うので、人材確保が重要ではないか。

### ★その他（テーマ以外の話題や進路など）

- ・自分の幼少期の記憶だが、男性の保育士さんが実習で来てくれた時、外で体を動かして遊んでくれて楽しかった記憶がある。男性の保育士さんがいても良いのではないか。
- ・将来は美容関係の職業を目指している。
- ・将来は介護福祉士になろうと考えている。
- ・将来の職業は音楽関係の仕事か、親に勧められている放射線技師を考えている。
- ・自分は自衛隊に入りたいと思っているが、インターネットで自分に合う職業を診断したら介護などの福祉系の職業が出てきた。振り返ると合っているのかとも思うが、自衛隊か、もしかすると福祉系かなとも考えている。
- ・言語聴覚士になって、脳の障害などで話す、食べる、聴くなどのリハビリが必要な方の支援をしたい。
- ・クマの出没については、猟師はまちなかに出動できないし、クマも悪気があるわけではないので、クマに襲われない行動、クマを寄せ付けない対応が大事ではないか。



発表者



## 「子育て支援」

担当議員



沢田 広志



高田 浩子



- ・子どもや保護者にとって負担の少ない環境を作ることが子育て支援につながると考える。例えば市内には学習塾が少なく、隣の塾で子どもは夜遅くまで一人で勉強し、保護者が送迎しているが、市内に子どもと保護者が同じスペースでそれぞれ勉強と仕事など自分の時間を過ごせる場所があれば、子どもを心配したり、送迎などの負担が解消され、ゆとりを持って子育てができるのではないかな。
- ・子育て支援という中では、勉強面が不安になってきて、自分が把握している中では勉強できるスペースが市内に1～2箇所しかないのでは、その数を増やしたり、学習関連のイベントを増やすなど、勉強意欲が湧くような取組が必要ではないかな。
- ・子育て支援は、育児に対する不安を少しでも軽減するというイメージがあり、砂川は一時保育をしている保育園が少ない。一時保育可能な保育園が増えると保護者の負担軽減だけでなく、保育士さんとの会話による不安解消にもつながるし、保育士さんを通じて子育て支援の情報を知ることにもできる。子育て支援施策を知らなかったり、自分から積極的にいかないと受けられないという印象があり、一時保育が可能な保育園が増え、もう少し保育士さんとのつながりから情報を知ることができれば良いと思う。
- ・保育園の一時保育の預かり時間を延ばしたり、看護師のような医療の知識を持った職員が常駐することで、発熱や体調不良の際に保護者が対応しやすいと思う。特に初めて子どもを育てる保護者にはその後の対応や支援について助言できるような保育園があったら良いと思う。
- ・育児休暇は母親が取得するイメージ。スウェーデンなど欧州では、父親も育児休暇を取得したり、育児休暇のイメージがマイナスではなくプラスで、出産や育児で仕事を辞めたり、休職から復帰後の冷たい視線などが無い。在宅などで短時間勤務ができれば金銭的にも楽になる。周囲の理解や、男性も育児休暇を取得しやすい環境が砂川でもあれば良いと思う。
- ・共働き世帯で両親がどちらも育児休業を取得できれば、負担の偏りがなくなり、育児に積極的になれると思うので、そういった環境になれば良いと思う。
- ・見学旅行で東京に行った時にベビーカーを借りられる場所があった。ベビーカーやジュニアシートなど、高価だが短期間しか使わないものを借りられる場所だったり、寄附してもらって利用できる仕組みがあったら良いと思う。
- ・日本は「子どもは女性が育てる」という文化だが、海外は周囲の理解もあり、両親とも育児休暇を取得でき「子どもは社会が育てる」という文化なので、それを砂川市から広げていけたら良いと思う。
- ・他の男性が育児休暇を取得することは良いと思うが、自分が取得することになったら周りはどう思っているのか気になる。



発表者

# 「砂川高校の支援」

担当議員



小黑 弘



伊藤 俊喜



- ・制服やタブレットの無償化の支援をしていただけると、保護者も「砂川高校いいんじゃない？」と思って選んでもらえるのではないかと思います。タブレットは小・中までは貸与で学校管理だったが、高校では入学時に約5万円で購入する必要がある、制服・タブレットをはじめとする入学時の負担が大きい。
- ・夏にポロシャツを配布していただいているが、暑い時にごく一部の生徒が着るのみで、ほとんど着る機会がない。配布していただくのであれば、ポロシャツではなく毎日着るワイシャツを配布していただけると助かる。学校指定のワイシャツは1枚3,800円だが特に名前も入っていない普通のワイシャツなので、補助が難しければ（校則の話になるが）学校指定ではなく自由にして安く売っているところで購入できるようにしてほしい。
- ・現在、検定料は砂川市から支援があり全員が受けられる環境になった。一方で、交通費が値上がりしているので、学校までの交通費を支援していただければありがたい。上砂川町では交通費の補助がある。

## ★その他（砂川高校の現状など）

- ・砂川市が砂川高校に支援していただいている内容を知ることができた。
- ・学力だけではなく生徒それぞれが地域活性化など自分の興味・関心を持つことについて探究し未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する「総合的な探究の時間」（学習指導要領）の一環として、様々な活動を行っているが、資金集めや物資集めに苦慮しており、砂川高校がこういった活動を行っているということをもっと知っていただき、応援していただきたい。
- ・砂川高校における「総合的な探究の時間」（概ね週2時間）の一例としては、「学校の活性化が地域の活性化につながる」というテーマで学校の環境を良くして入学者を増やす取組など、生徒それぞれが自ら考え、視察見学に行ったり、企業に出向いて実際に商品開発を行ったりしている。
- ・今年度の砂川高校体験入学は砂高生自らが中学校に行き、中学生に参加を呼びかけた結果、参加者が昨年の74名から137名と大きく増加した（約1.9倍）。自分たちが中学生の頃は、「え？砂高入るの？」「本当に砂高でいいの？」と言われ、イメージ（主に勉強面の不安）だけが先行し、本当の良さが中学生に伝わっていないと感じた。今は「本当に砂高で良かった」と思っている生徒がほとんど。授業でもいろんなことをやらせてもらえる。
- ・他の市立高校の話ではアイスの自販機があったり、飲料水の種類が充実しているという話を聞く。また、制服のネクタイ・リボンを選べる学校もあり、羨ましいと思うし、そういったところも中学生から選ばれる学校の要素になってくるのではないかと思います。
- ・砂川高校に設置されているエアコンは風量が微弱で調節ができない。また、普通教室しかなく、単位制による選択授業が多い砂川高校では普通教室はあまり使われないため、常に暑い中で授業を受けている。中学生は小・中とエアコン完備で育ってきているため、高校を選ぶ理由としてはとても大きな要素。



発表者



# 「公共施設」

担当議員



水島美喜子



鈴木 伸之



- ・公共施設として思い浮かぶのは、図書館、ゆう、すないる、市立病院、総合体育館、海洋センター、学校、オアシスパーク。
- ・よく利用するのは総合体育館（友達と筋トレやバドミントンなど）、地域交流センターゆう（吹奏楽部）、
- ・すないるは高校生が行ってもあまり楽しめる場所ではない。一つの広い空間だが、仕切りがあったり個室的に利用できると、高校生が勉強したり話ができる場になると思う。
- ・ゆうは落ち着ける場所。ゆうにカフェがあればとても良い。電車待ちのために交流ゾーンの席を利用するが、先に中学生が居たり座れないこともあるので、席数を増やしてほしい。
- ・総合体育館のメインホールで音楽（BGM）が流れると良い。運動していても気にならず、逆にやる気が出る。
- ・ゆうなどの公共施設に砂川のマスコットキャラクターがいたら、小さい子どもたちが来るのではないかな。
- ・おススメの本を他の人が読んで感想を伝え合う「押し本リレー」など、市民との交流があれば図書館を楽しく活用できるのではないかな。
- ・勉強などの用途の他に、カードゲームができる場所があると良い。比較的ゆうは雰囲氣的に利用しやすいが、すないるは静かにしないといけない雰囲気がある。

## ★その他（市内に「あったらいいな」という施設など）

- ・以前は隣町にも映画館があったが、小さな映画館とかがあったら楽しいかなと思う。
- ・市内に温泉があったら通いたい。
- ・カラオケ店があったら良い。ボウリング場にあるカラオケは知らない人が多いと思う。
- ・高校生が放課後などの時間で自主的に運営するカフェがあれば、年も近いので楽しい雰囲気になると思う。
- ・砂川の良いところ（イメージ）はお菓子のまち。
- ・学校から歩いて行ける距離に総合体育館などいろいろな施設があるので、放課後に行きやすい。
- ・空き家や廃墟が多い。
- ・高校生より下の子どもたちがはしゃげる場所、にぎやかなまちになってほしい。



発表者

# 「観光事業・イベント」

担当議員



中道 博武



山下 克己



- ・砂川の観光やイベントで魅力を感じるものはスイートロード、ナカヤさんのアップルパイ、花火がきれい。
- ・花火大会にドローンショーがあったら良いと思う。
- ・ラブリバーやTHE祭で、屋台で購入する際にチケットを買わなければいけないが、50円とか100円が毎回余って使い道がなくなるので、現金のほうがお客さんは買いやすいと思う。
- ・滝川だとコスモスとか菜の花など、市を象徴する花を植えて観光客を呼び込んでいるが、砂川もスズランをもっと植えると人が集まるのではないかな。
- ・お祭りなどで高校生が屋台を出したら盛り上がるのではないかな。例えば滝川の高校では菜の花のアイスを販売していて、砂川高校でもそういった取組ができればと思う。
- ・写真が趣味で、近隣の様々な場所に写真を撮りに行くが、砂川にイルミネーションがあれば良いと思う。
- ・すないうは外観では小さく見えたが中に入ると奥行きがあって意外と広かった。カフェのアイスクリームはおいしかった。
- ・スイートロードと連携して、砂川限定の商品を作れば観光客も来るのではないかな。
- ・砂川はパークホテルと旅館はあるものの、宿泊施設があまりないので空き校舎を宿泊施設にして、給食を提供してみたら面白いのではないかな。
- ・空き校舎の活用方法として、伊達市大滝のチャイルドフットのようなアトラクションパークにすれば、観光客が来るのではないかな。
- ・行ってみたいと思う施設は、チームラボ（デジタルアートミュージアム）のような最新技術が体験できる施設。SNSで発信している人が結構いる。空き校舎を活用してできれば面白いと思う。
- ・空き校舎をクレーンゲーム、プリントシール、カプセルトイなど、何かに特化したゲームセンターがあったら近隣以外からも人が来るのではないかな。空き校舎のうち、1つでも高校生を含む子どもが企画する施設ができれば、同じ子どもはもちろんのこと、砂川には看護学校生もいるし、若者や子どもを持つ親も喜ぶのでは。中途半端なスケールではなく、道内一の規模を目指すなど、他から観光客を呼び込む施設にできたら面白いと思う。例えばアトラクション、デジタルアート、ゲームセンター、映画館、宿泊が一つになった施設などは、遊んで泊まれてとても魅力的。
- ・お祭りの出店の距離を長くしてほしい。学校祭でも飲食の模擬店を実施したが、お祭りにも出店させてもらえたら面白い。
- ・砂川高校の授業の一環として、生徒が地域のイベントにもっと積極的に関わっていけるような取組ができたら地域の活性化にもなる。主催者にも砂川高校にお声掛けいただきたい。

## ★その他（楽しかった観光地やイベントなど）

- ・砂川のラブリバーは楽しかった。花火が良かった。
- ・修学旅行で行った瑠璃光院（京都）の紅葉、東京ディズニーランドはとても楽しく印象に残った。観光地とても人が多く、特に外国人が多かった。トイレはゴミが散乱したり汚かった。
- ・行きたい旅行先としては、シンガポール、フランス、ベルギー、アメリカ、韓国など、そこでしか見られないものや食べられない本場のものを体験したい。



発表者



# 「安全確保」

担当議員



武田 真



石田 健太



- ・クマで体育祭が中止になった。学校生活にも影響が出ていて、問題だと思った。
- ・エサを探しに来るので、ごみステーションを強化したり、草を刈った方が良いと思う。
- ・箱わなを使って捕獲したら山に返すという対応で良いと思う。
- ・麻酔銃を使って山に返すという方法も良いのでは。
- ・柵など、山から下りてこない対策が重要。
- ・人身被害が起きる前に、絶滅しない程度に個体数を減らす必要がある。
- ・個体数をある程度減らすために冬眠中のクマを駆除するしかないのでは。山に返しても繁殖してしまうので、ある程度の駆除は必要。
- ・ハンターを増やすことが必要。そのために狩猟免許の取得費用を補助してはどうか。ハンターの収入を増やすことも必要。
- ・(弾代や銃などの経費を聞いて) お金があればハンターになりたいが…。
- ・狩猟免許の存在や、取得方法をもっとたくさんの人に知ってもらう必要がある。
- ・ハンターになるための窓口を増やしてほしい。
- ・市のホームページで「狩猟に興味のある方はこちら」のようなページで免許取得をわかりやすく周知する。
- ・狩猟に興味がある方へ、模擬銃などを使ったハンター体験ができる事業などがあれば。
- ・若いハンターを育てるために、小学校などで小さいうちから授業で取り扱うなどの取組が有効では。
- ・地震が起きた際の対応を学校で訓練しているように、クマに出会った時の対策についてもシミュレーションが必要だと思う。
- ・クマの生態などの知識は、主にSNSで得ることが多い。ニュースではたまに見るくらい。登下校は怖い。
- ・クマ出没時は登校時間を遅くしたり、リモート授業も検討してほしい。小中学校は休みになったりしているが、高校生はどうにか自分で対処できるとされているのか不思議に思う。
- ・クマ出没時に地名で言われてもわからない。(砂川市が地元ではないので) 目立つ建物などを言ってほしい。
- ・滝川市民だが砂川のクマ情報LINEも登録している。不要不急の外出は控える、なるべく親の車に乗る、情報を自ら取りに行くなど自分でできる対策をすることが大事。
- ・ハンター不足の現状やクマの情報など、今流行しているSNSで発信すれば若い人も見ると思う。
- ・ふるさと納税でハンターを支援するのも良いのでは。



発表者

## ◇全体的様子



議長による歓迎の挨拶



砂川市議会の概要を説明



グループでの懇談の様子



議長役の生徒さんによる議事進行



生徒さんによる各グループの懇談内容の発表



砂川高校 吉川教頭からのご挨拶

### 「模擬議会」形式 ～議長役の生徒さんによる議事進行～

各グループの発表は、昨年に引き続き「模擬議会」形式で行いました。

議長役の生徒さんによる開始ブザーと開会・開議宣告、会議録署名議員指名、会期の決定を行った後、グループ懇談の報告を求め、発表役の生徒さんが「議長！」と挙手、それぞれA～Fグループの懇談内容を発表していただきました。

議長役より報告に対する質疑が求められましたが挙手はなく、生徒の皆さんは無事発表を終えて安堵の表情を浮かべていました。どの生徒さんも物怖じせず堂々としながらも要点を簡潔にまとめられ、若い方々のエネルギーと可能性を感じるとともに、懇談会を通して、物事に取り組む姿勢や積極性など、若い高校生から多くのことを学ばせていただいた懇談会となりました。



## ◇アンケート集計結果

参加者数 43 名

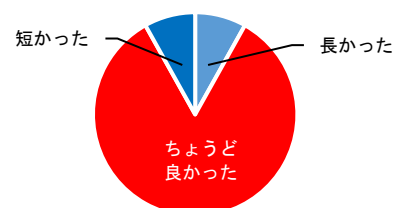
回答者数 37 名（回答率 86.0%）

### 問1 議員との懇談について

#### ① 懇談の時間について

ア 長かった	1	3.2%
イ ちょうど良かった	18	58.1%
ウ 短かった	12	38.7%

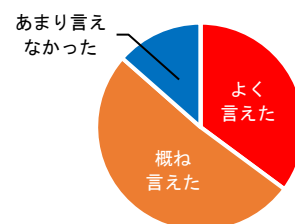
懇談の時間について  
(1時間30分)



#### ② 懇談で意見等を言えましたか

ア よく言えた	13	35.1%
イ 概ね言えた	19	51.4%
ウ あまり言えなかった	5	13.5%
エ 全然言えなかった	0	0.0%

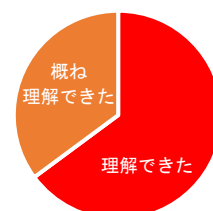
懇談で意見を言えたか



#### ③ 懇談の内容（テーマ）は理解できましたか

ア 理解できた	24	64.9%
イ 概ね理解できた	13	35.1%
ウ あまり理解できなかった	0	0.0%
エ 全然理解できなかった	0	0.0%

懇談の内容は理解できましたか



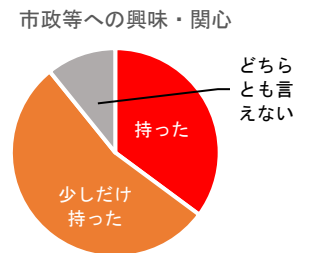
#### ④ 自由記載

- ・ 懇談会のために砂川市のことを調べ、知っていく中で、認知していなかった政策や改善していきたいと思う設備などを深く考えることができました。
- ・ 議員さんが意見を肯定的に聞いてくれたので話しやすかった。
- ・ はじめはあまり意見が出なかったけど、話し合いを続けていくうちにこれも良いかも、あれも良いかもと内容が深くなっていったのがとても印象的でした。
- ・ 砂川を変える取り組みを考えたが、都合の良い考えは変えるのにコストと時間がかかってしまうため難しいということが理解できた。
- ・ 各グループで分かれて話し合いするときすごく緊張したけど話し合いにいた人達が優しく面白くて話しやすかったし楽しかった。問いかけに対してわからなかったとかも例えばこれはどう？とかの案を出してくれるのもすごく考えやすかった。
- ・ 今回は、お忙しい中僕たちに大切な意見やお話をしてくださって誠にありがとうございました。
- ・ 話をみんなに振ってくれて、喋りやすかったです。
- ・ 話し合うお部屋に付いていたカメラが発言してる人に向けて、テレビに映し出されるのが見やすかった。
- ・ 市からの支援を受けているが上手くそのお金を利用できていない。

問2 懇談会の参加を終えて、次の項目についてどのように思いましたか？

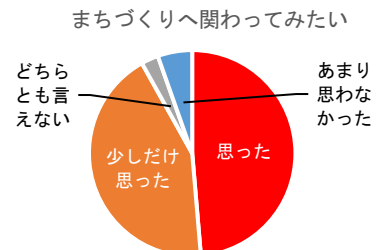
(1) 市政（市の施策等）をはじめ、政治に興味・関心を持ちましたか

ア	持った	13	35.1%
イ	少しだけ持った	20	54.1%
ウ	どちらとも言えない	4	10.8%
エ	あまり持てなかった	0	0.0%
オ	持てなかった	0	0.0%



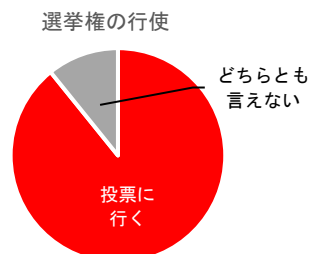
(2) 今後、まちづくりへ積極的に関わってみたいと思いましたか

ア	思った	18	48.7%
イ	少しだけ思った	16	43.2%
ウ	どちらとも言えない	1	2.7%
エ	あまり思わなかった	2	5.4%
オ	思わなかった	0	0.0%



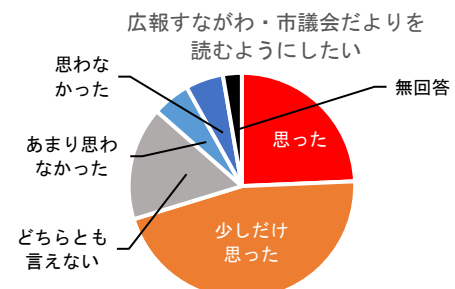
(3) 選挙権を持ったら、投票に行こうと思いましたか

ア	投票に行く	33	89.2%
イ	投票には行かない	0	0.0%
ウ	どちらとも言えない	4	10.8%



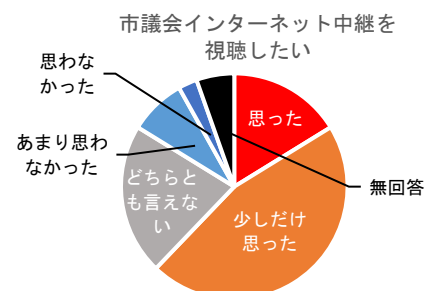
(4) 「広報すながわ」や「市議会だより」を読むようにしたいと思いましたか

ア	思った	9	24.3%
イ	少しだけ思った	17	46.0%
ウ	どちらとも言えない	6	16.2%
エ	あまり思わなかった	2	5.4%
オ	思わなかった	2	5.4%
	無回答	1	2.7%



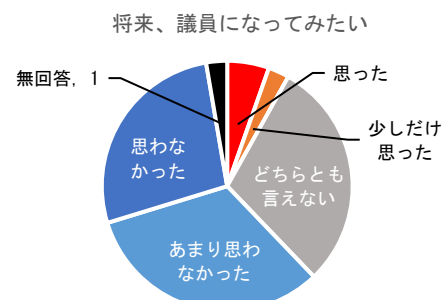
(5) 市議会ではインターネット中継をしています、視聴したいと思いましたか

ア	思った	6	16.2%
イ	少しだけ思った	17	46.0%
ウ	どちらとも言えない	8	21.6%
エ	あまり思わなかった	3	8.1%
オ	思わなかった	1	2.7%
	無回答	2	5.4%



(6) 将来、議員になってみたいと思いましたか

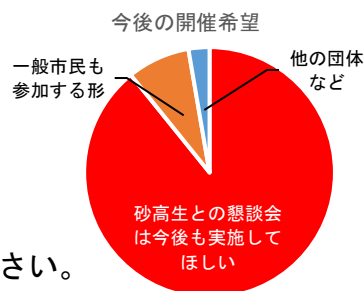
ア	思った	2	5.4%
イ	少しだけ思った	1	2.7%
ウ	どちらとも言えない	11	29.8%
エ	あまり思わなかった	12	32.4%
オ	思わなかった	10	27.0%
	無回答	1	2.7%





問3 今回、将来を担う砂川高校の皆さんと懇談をさせていただきました。今後も砂高生との懇談会を行うことは必要だと思いますか？

ア 砂高生との懇談会は今後も実施してほしい	33	89.2%
イ 一般市民も参加する形で開催してほしい	3	8.1%
ウ 他の団体などの意見も聞いた方がよい	1	2.7%



問4 全体を通してご意見・ご感想がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・ いい機会だった。
- ・ 元々あまり議会や政治に興味・関心がなく、議員や政治を気にせず不満を言ったりしていたが、今回のおかげで彼らの努力がどれだけなのかわかりました。これからは不満だけではなく、改善点も含めて考えて発言していこうかなと思いました。
- ・ 高校生の視点からの意見を出せる場は中々ないので、貴重なお時間をいただけて光栄でした。
- ・ 大人と関われると言うのは本当にありがたいことであると思うのでこう言う機会があった方がよいと思いましたとても勉強になることが多かったです。
- ・ 親しみやすい議員さんばかりで、短い時間でも積極的に意見を出し、話し合うことができました。普段、学校という閉鎖的な空間で限られた大人たちと関わっているの、違った大人の皆さんと交流できて新鮮な時間でした。

◇令和7年度議会懇談会に関する記事など

北海道新聞（ウェブ版）

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/1237163/>

プレス空知

<https://presssorachi.co.jp/news-20251112-2/>

砂川高校公式 note

<https://sunagawa-hs.note.jp/n/nc31de865bc4e>



＜発行・お問い合わせ先＞

砂川市議会事務局

〒073-0195 砂川市西7条北2丁目1番1号

TEL 0125-74-8796 FAX 0125-54-2568

市議会ホームページ 令和7年度議会懇談会実施報告書

<https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/shisei/shigikai/gikaihoukokukai.html>



二次元バーコード